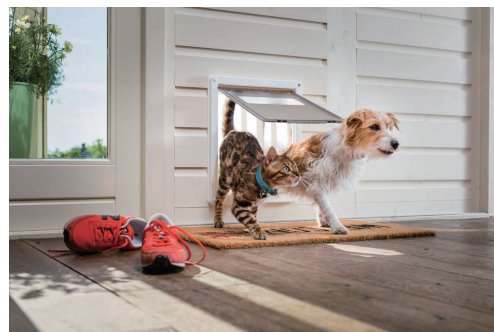


犬の口臭が気になる!犬の口が臭い場合のケア方法・対策改善の方法とは?

「今まではそうでもなかったのに、最近になって、犬の口臭がきつい」というお悩みをお持ちではありませんか?犬の口臭が気になるときは、犬の体に何らかの異変が起こっている可能性があります。犬の口臭が強い場合の、口臭の原因や、具体的な対策方法などをお伝えしていきます。

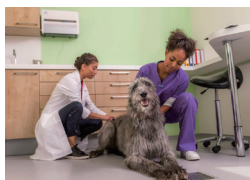


犬の口臭が気になる原因とは?



健康な犬の口の中は、唾液で常に湿った状態になっています。しかし、口の中の水分が不足していると、唾液がねばねばと濃縮され、それが口臭の原因となります。その他、歯周病などの口腔内の疾患を患っていたり、内臓疾患が進んでいたりする場合も、口臭が発生することがあります。傷んだフードを与えている場合にも、口臭は強くなるため、要注意です。

歯周病の場合の口臭ケア方法



①歯磨きをこまめに行う

歯垢が溜まって歯石化しないように、自宅で犬の歯磨きをこまめに行うようにしましょう。歯ブラシを使い、ブラッシングすることで、口の中に残った食べカスを除去できます。

②歯磨きガムなどを与える

歯磨きは、犬によっては、なかなか奥歯までブラッシングさせてくれない場合があります。そんなときには、歯磨きガムを与えたり、タオル製のおもちゃを噛ませたりして、歯が摩擦される刺激で奥歯の歯垢を除去する工夫をしましょう。

③病院で歯石除去の施術を受ける

歯石化してしまった歯垢は、自宅でのケアでは除去することは難しいです。そのため、動物病院でスケーリングと呼ばれる専門的な歯磨きを受ける必要があります。歯周ポケットと呼ばれる、歯と歯肉の間まで掃除をする場合には、全身麻酔が必要です。麻酔なしのハンドスケーリングも可能ではあるものの、完璧なスケーリングには至りません

内臓疾患の場合の口臭ケア方法

内臓疾患が原因の口臭を防ぐためには、疾患の治療を行うことが先決です。下痢・嘔吐・腹痛などの症状がみられた際には、動物病院で獣医師の診察を早めに受け、治療を開始するようにしましょう。

フード選びでの口臭ケアの方法

ドッグフードは、ウェットフードよりもドライフードの方が、歯垢がつきにくい傾向があります。食べるだけで歯磨き効果が得られるフードなども販売されているため、動物病院で相談のうえ、犬の体質にあったフードを購入すると良いでしょう。

サプリメントでの口臭ケアの方法

食品由来成分で歯垢を除去し、口臭の発生を防ぐデンタルケアサプリメントもあります。サプリメントは動物病院によって取り扱いが異なるため、まずは獣医師に相談してみましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

 LINE 公式サイト LINE@友達募集中 →

